

# 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表

分野： 文化・教養 学科名： グラフィックデザイン科

| 学年 | 科目コード  | 科目名           | 時間数 | 内容                                                                                                                                |
|----|--------|---------------|-----|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1  | A1-K04 | デザイン編集ツールⅠ    | 240 | クリエイティブ関連業務に従事経験のある講師が実施することとする。Illustrator/Photoshopを習得することで、PCによるデザイン制作の基礎を身につけ、図形の作図、紙面レイアウト等、基本から応用までステップバイステップで技能を学ぶ。        |
| 1  | A1-K08 | WEB基礎         | 30  | クリエイティブ関連業務に従事経験のある講師が実施することとする。WEBデザインの基本・楽しさを学び、基礎的なコーディング技術を身につける。                                                             |
| 1  | A1-K10 | 表現基礎Ⅰ         | 180 | 多様な手法を用いた表現・制作の経験がある講師が実施することとする。デザイン全般の役割を学び、デザインへの理解を深め、学習意欲の向上を図る。デッサンや平面構成、サムネイル制作などデザイン工程における基礎技術の習得を行う。                     |
| 1  | A1-K12 | 制作演習選択Ⅰ       | 60  | 現役デザイナーである講師が実施することとする。イラストレーションやポリゴン・モザイクアート等、多様な表現方法を学ぶ。                                                                        |
| 1  | A1-K14 | 写真基礎          | 60  | クリエイティブ関連業務に従事経験のある講師が実施することとする。コミュニケーションツールにおける写真の役割を理解する。写真撮影の基礎技術（機材の取扱方や商品に合わせた照明・撮影）を学び、コマーシャルフォトの基礎撮影を実践する。                 |
| 1  | A1-K16 | 入稿技術Ⅰ         | 120 | クリエイティブ関連業務に従事経験のある講師が実施することとする。様々な印刷媒体の制作実習を通して、ポスター・冊子・パッケージ・特殊印刷等において、レイアウトから入稿までのDTP技術・知識を身に着ける。                              |
| 1  | A1-K19 | コミュニケーションデザイン | 50  | クリエイティブ関連業務に従事経験のある講師が実施することとする。デザインの持つ意味や概念をより深く知るため、マーケティング的発想を使い、実際のクライアントワークとしての商品パッケージ（ラベル）をデザインする。                          |
| 2  | A2-K05 | デザイン編集ツールⅡ    | 120 | クリエイティブ関連業務に従事経験のある講師が実施することとする。冊子等の制作において必要な知識・技術、ソフトの操作を習得する。制作だけではなく、入稿作業までを行うことで、印刷の基礎知識も習得する。                                |
| 2  | A2-K09 | WEB作成ツール      | 60  | クリエイティブ関連業務に従事経験のある講師が実施することとする。WEBサイト制作の基礎技術（HTML, CSS）を習得し、WEBの特性を考慮したデザインスキルの基礎を身につける。                                         |
| 2  | A2-K11 | 表現基礎Ⅱ         | 30  | クリエイティブ関連業務に従事経験のある講師が実施することとする。色彩とデザインの深い関係やテーマに基づくビジュアル展開の方法、文字や素材による情報の伝え方を学ぶ。プレゼンテーションを実践形式で行い、より効果的なプレゼンテーション方法とアイデアの拡がりを学ぶ。 |
| 2  | A2-K13 | 制作演習選択Ⅱ       | 60  | クリエイティブ関連業務に従事経験のある講師が実施することとする。学んだ表現方法を自身の作品作りにどのように活用するかを実践を通して学ぶ。                                                              |
| 2  | A2-K15 | 商業写真          | 80  | クリエイティブ関連業務に従事経験のある講師が実施することとする。クライアント・ターゲットユーザーニーズを意識した発想でプランニングが出来るスキルを養う。コマーシャルベースに適した商品・人物撮影で完成度の高い作品作りを身につける。                |

|    |        |             |       |                                                                                                                               |
|----|--------|-------------|-------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 2  | A2-K17 | 入稿技術Ⅱ       | 210   | クリエイティブ関連業務に従事経験のある講師が実施することとする。1年次よりも高度なデータ作成技術やより深い知識を身につける。                                                                |
| 2  | A2-K20 | アートディレクションⅠ | 90    | クリエイティブ関連業務に従事経験のある講師が実施することとする。ビジネスとして、コミュニケーションをデザインする基本的視点、思考法を言葉で理解する。コミュニケーションを成立させるための情報の整理、分析、再構築と表現方法を実践を通して学ぶ。       |
| 2  | A2-K22 | WEB実践       | 60    | クリエイティブ関連業務に従事経験のある講師が実施することとする。ユーザー目線での導線が明確で反応の取れるWEBページとはどのようなものを理解し、UIデザインおよび実装までを行う。                                     |
| 3  | A3-K18 | 入稿技術Ⅲ       | 340   | クリエイティブ関連業務に従事経験のある講師が実施することとする。種媒体の特性や販促展開の意図を汲み取ったデザインを可能とする技術を身につける。                                                       |
| 3  | A3-K21 | アートディレクションⅡ | 120   | クリエイティブ関連業務に従事経験のある講師が実施することとする。ブランドの意味とブランディングの方法論を学習する。企業からの課題を実習することでデザインの思考法を活かしたコミュニケーションの情報の整理、分析、構築の実践、プレゼンテーションを学ぶ。   |
| 3  | A3-K23 | WEBビジネス     | 80    | クリエイティブ関連業務に従事経験のある講師が実施することとする。ユーザー目線での導線が明確で反応の取れるWEBページを完成させる。グループワークでの実制作を通して、社会に役立つサービスを生み出す大変さと楽しさを実感し、価値あるWEBサイトを構築する。 |
| 合計 |        | 18科目        | 1,990 |                                                                                                                               |

# 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表

分野： 工業 学科名： デジタルコンテンツ科

| 学年 | 科目コード  | 科目名        | 時間数 | 内容                                                                                                                                                                             |
|----|--------|------------|-----|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1  | W1-K05 | WEB制作 I    | 180 | Webデザイン制作ソフトの操作技術を習得することで、テンプレートやオーサリングツールを使用してWebページを視覚的にデザイン制作、編集することが出来る。Webデザイン制作ソフトXdを現役のWEBデザイナーである澁谷が担当する。                                                              |
| 1  | W1-K07 | デザイン編集ツール  | 180 | ドローツールや画像編集ツールの操作技術を習得することで、制作における素材作成の基礎を身につける。オブジェクトの作図、画像のレタッチ、画像補正、解像度の理解、レイアウト基本から応用まで、ステップバイステップで複数の技能を身につける。デザインの制作実習は現役Webデザイナーの澁谷が担当する。                               |
| 1  | W1-K09 | 撮影・動画編集基礎  | 140 | 撮影機材の取扱い方、ライティングなど、クライアントの要求に対応した的確な演出方法、撮影方法など、制作のための素材となる静止画、動画の撮影技術を身につける。また簡易編集ソフトウェアで編集し、制作に必要な素材を制作することが出来る。撮影スタジオを経営しカメラマン、動画クリエイターとして海外でも活躍している竹原、現役の動画クリエイターの宮田が担当する。 |
| 1  | W1-K12 | WEBデザイン基礎  | 40  | Webデザインとは、どのように人を惹きつけ機能しているのか、世にあるWebを分析し研究、考察する。デザインをするうえで必要となる感覚を理解して、前提となる感受性を養う。現役WEBデザイナーである松村氏が授業を担当する。                                                                  |
| 2  | W1-K14 | WEBデザイン I  | 120 | 目的の応じたWebページを企画し、的確な素材制作から、Web全体の構成を考えて、デザインする。カンパ制作からコーディングの実習を通して制作フローを学ぶ。Webデザインの実習は現役のWEBデザイナーである澁谷が担当する。                                                                  |
| 2  | W2-K08 | 動画制作ツール    | 180 | 動画制作ソフトの操作技術を習得し、的確に素材を切り貼りして1本の動画にすることが出来る。またデジタル合成やモーショングラフィックスなどの効果を加えることで、要望に応じた動画を作ることが出来る。制作実習は動画クリエイターで活躍している沼田が担当する。                                                   |
| 2  | W2-K10 | 動画制作実習 I   | 180 | 様々な媒体を想定して、実践的な動画作品の制作を行う。それぞれの場面に応じた表現を経験することで、より多くの動画制作の技術を向上させる。Filmenntsという浜松の動画制作会社代表の深瀬が担当する。                                                                            |
| 2  | W2-K15 | WEBデザイン II | 90  | 具体的な販売促進を想定し、顧客ニーズを的確につかみ導線が明確で、成果の上がるWEBページを構築方法を体系的に学ぶ。マーケティングを理解し、ユーザーからの反応の取れるWEBページを完成させる。広告デザインで活躍する遠藤が企画を担当し、現役Webデザイナー澁谷がサイト制作部分を担当する。                                 |
| 2  | W2-K16 | WEB構造      | 120 | サーバーサイドで動的なWebページを作成するためのプログラム言語などを学び、業務に必要なWeb制作の幅を広げる。Web開発エンジニアとして活躍している小久保が担当する。                                                                                           |
| 2  | W2-K22 | ポートフォリオ I  | 80  | 就職活動に必要なこれまでの製作成果や自己PRのためのツールを効果的にまとめる。現役デザイナーの満森が担当する。                                                                                                                        |

|   |        |            |       |                                                                                                                             |
|---|--------|------------|-------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 3 | W3-K11 | 動画制作実習Ⅱ    | 180   | 実践を想定したクライアントワークを行う中で、より確実な動画制作の力をつける。また映像配信の知識、技術を学ぶ。動画クリエイターとして海外でも活躍している竹原、デジタルサイネージクリエイターとして活躍している長谷川が担当する。             |
| 3 | W3-K18 | サイト制作・運営実習 | 120   | より実践的にWeb制作を行い、運用に関わる各リスクやトラブル、成果を検証し的確に管理運営するための戦略的なプロジェクトマネジメントを経験する。サイト制作実習はWeb制作会社WETCHの鈴木が担当する。                        |
| 3 | W3-K23 | ポートフォリオⅡ   | 60    | 自身が行ってきた学びや、制作を効果的にまとめ、対外的に公開することで、自身を売り込むとともに、より深い学びへの契機とする。現役Webデザイナーの澁谷が担当する。                                            |
| 3 | W3-K26 | 卒業制作       | 360   | 3年間の集大成として、身につけた技術をどう社会につなげるかを実践する。テーマを基に企画立案を行い、企画書プレゼンテーションを実施。その後中間プレゼンテーションなどで審査を行い、対外的に発表を行う。現役動画クリエイターの竹原、沼田が動画を担当する。 |
|   |        | 14科目       | 2,030 |                                                                                                                             |

# 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表

分野： 工業 学科名： CADデザイン科

| 学年 | 科目コード  | 科目名            | 時間数 | 内容                                                                                                                          |
|----|--------|----------------|-----|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1  | D1-K07 | 3次元CADモデリングⅠ   | 90  | 自動車関連企業でCAD設計経験のある教員が担当する。3次元CADソフトを使い、3次元CADの考え方を把握し、モデリング技術を学習する。2次元スケッチの作成方法から単一部品のモデリング、簡単なアセンブリまでを学習する。                |
| 1  | D1-K08 | 3次元CADモデリングⅡ   | 60  | 自動車関連企業でCAD設計経験のある教員が担当する。3次元CADを使い、複雑な形状の製品を製作するため、図面を見ながらサーフェスを含めたモデリング技術を学習する。また、複数の部品から成る製品についてもアセンブリ機能を活用し制作する手法を学習する。 |
| 1  | D1-K12 | CAD概論          | 30  | 自動車関連企業でCAD設計経験のある教員が担当する。CADの特性や基本的な操作方法について学習する。CADを活用していく上での総論的な知識を習得する。                                                 |
| 1  | D1-K15 | テクニカルイラストレーション | 30  | 製造業で実務経験のある教員が担当する。物の形状を視覚的にわかりやすく伝えるために、計量的に物体の形の寸法をとり、その寸法に従って一定のルールで描く立体図の作図方法を学習する。                                     |
| 1  | D1-K20 | マシニング基礎        | 30  | 製造業で実務経験のある教員が担当する。設計技術者として必要な知識である基本的な加工方法、またそれらを実現するための工作機械の構造や仕組みについて学習する。                                               |
| 1  | D1-K24 | 3DデジタルワークⅠ     | 60  | デザインの実務経験のある教員が担当する。CADデータを制作するだけでなく、CADデータを活用しながら実物モデルを制作し、基本的なCADからの実物モデル制作の流れを学習する。                                      |
| 2  | D2-K17 | 製品企画           | 30  | 製造業で実務経験のある教員が担当する。製品を企画・開発し、市場に出すまでの過程を簡単な演習も取り入れながら製品企画のプロセスに沿って用語や手法の詳細な解説を行い、製品企画に関する基礎知識を体系的に学習する。                     |
| 2  | D2-K21 | 生産・製造概論        | 60  | 製造業で実務経験のある教員が担当する。生産に関わる知識の全体像を演習を通し学習する。また、工場の自動化を意識した生産管理や生産設備について学習する。                                                  |
| 2  | D2-K26 | カーデザイン         | 60  | デザインの実務経験のある教員が担当する。自動車の車体や自動車部品の概観デザインの基本について学習・演習する。                                                                      |
| 合計 |        | 9科目            | 450 |                                                                                                                             |

# 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表

分野： 文化・教養 学科名： メイク・ブライダル科

| 学年 | 科目コード  | 科目名        | 時間数 | 内容                                                                                                                                                          |
|----|--------|------------|-----|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1  | M1-K06 | 接客Ⅰ        | 50  | 5つ星ホテルでフロント経験のある講師が担当するサービス接客検定3級の取得。顧客心理への理解を深め、お客様視点やニーズの抽出の仕方を学ぶ。接客ロールプレイングを学び、お出迎えからお見送りまでの一連の動作が出来る。                                                   |
| 1  | M1-K09 | メイク基礎      | 240 | 化粧品販売員として経験がある講師が担当する。メイク・スキンケアの正しい基礎知識を身に付ける。技術だけでなく、所作・マナー・時間の感覚・施術者としての基本思考を身に付ける事で、お客様に支持されるプロとして活躍できる人材になる。JMA検定3級。                                    |
| 1  | M1-K11 | ヘア基礎       | 80  | 美容室を運営し、美容師として人材育成経験のある講師が担当する。ヘアセットの基礎技術（ブラッシング・ホットカラー・ピンニング・アイロン・編み込み）の習得。お客様視点を身に付けていく為、基礎の段階から、時間意識を持つての丁寧な実習、技術習得を行う。                                  |
| 1  | M1-K13 | クリエーションⅠ   | 90  | ヘアメイクアップアーティストとして経験がある講師と、美容室を運営し人材育成経験のある講師が担当する。コンセプトに合ったヘアメイククリエーションが出来る。狙いに合わせたアイテムや道具の使い方、色・質感・形の違いを学ぶイメージクリエーションを理解する。ヘアとメイク作品制作を行う。                  |
| 1  | M1-K15 | ブライダル基礎    | 120 | ブライダルサロンを運営し経験のある講師が担当するAWP検定取得。ブライダル業界のしきたりやマナーなどの基礎知識を学ぶ。実際の式場を見学し流動す現場の今を知る。ブライダル基本のヘアメイクを学ぶ。（花嫁・メンズ・年齢別）ドレスの扱い、小物の扱いを学ぶ。                                |
| 1  | M1-K19 | トータルビューティⅠ | 120 | ネイリストである講師が担当する。ネイル検定3級。アロマ・ネイルなど、美容業界で必要なトータルビューティの知識を身につける。知識だけではなく、お客様に還元できるカウンセリング技術も身に                                                                 |
| 2  | M2-K07 | 接客Ⅱ        | 60  | 5つ星ホテルでフロント経験のある講師が担当する。サービス接客検定2級の取得。顧客心理への理解を深め、お客様視点やニーズの抽出の仕方を学ぶ。接客ロールプレイングを学び、お出迎えからお見送りまでの一連の動作が出来る。                                                  |
| 2  | M2-K10 | メイク応用      | 180 | ヘアメイクアップアーティストとして経験がある講師が担当する。メイクの基本を応用に展開する思考技術を身につける。自分の好きなメイクではなく、お客様に似合わせる為のメイクを学ぶ。黄金バランスを指針とする事で、変化の激しい美容業界の流行を自身で見極め、対応する力を身に付ける。JMA2級。               |
| 2  | M2-K12 | ヘア応用       | 90  | 美容室を運営し、美容師として人材育成経験のある講師が担当する。お客様の要望にあった、ヘアイメージを理解、提案、実施する為に3つのウエイトについて学ぶ。崩れないピンニング・デザインに合ったカラーの配列が出来るようになる。3つのウエイトの判別が理解でき、ウエイトコントロール・イメージにあったヘアデザインが出来る。 |

|    |        |            |       |                                                                                                                                                                    |
|----|--------|------------|-------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 2  | M2-K14 | クリエイションⅡ   | 150   | ヘアメイクアップアーティストとして経験がある講師と、美容室を運営し人材育成経験のある講師が担当する。コンセプトに合ったヘアメイククリエイションが出来る。狙いに合わせたアイテムや道具の選択、色・質感・形を使ってイメージクリエイションが出来る。写真、動画作成技術を学び発信方法までを習得。コンテストの参加。ヘアメイク作品の制作。 |
| 2  | M2-K16 | ブライダル実践    | 180   | ブライダルサロンを運営し経験のある講師が担当する模擬披露宴と模擬挙式の実施。全てのブライダルの業務ができる知識と技術を学ぶ。ブライダルかつらや、綿帽子など専門技術を磨く。花嫁着付け・袴着付けが出来る。ブライダル従事者に必須のおもてなしの心を身につける。                                     |
| 2  | M2-K20 | トータルビューティⅡ | 90    | ネイリストである講師が担当する。ジェルネイル検定初級。エステ・ネイル・エアブラシを中心に、美容業界で必要なトータルビューティの知識を身につける。応用として、提案カウンセリング、発信が出来る。エアブラシの分解洗浄が出来る。                                                     |
| 2  | M2-K21 | 卒業制作       | 100   | ヘアメイクアップアーティストと美容室を運営し人材育成経験のある講師が担当する。2年生間の集大成としたヘアメイクネイル制作。制作だけではなく、他者に美容を通して発信することが出来るまでを身につける。                                                                 |
| 合計 |        | 13科目       | 1,550 |                                                                                                                                                                    |

# 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表

分野： 工業 学科名： A I × コンピュータ科

| 学年 | 科目コード  | 科目名     | 時間数 | 内容                                                                                                                                                    |
|----|--------|---------|-----|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1  | C1-K04 | 情報基礎理論  | 120 | コンピュータの仕組みについて、構成要素、データ表現、記憶装置、プロセッサの動作原理、入出力装置などの基本的な知識を習得する。基数変換などの計算は確実に理解したい。情報処理関連企業でプログラマ・システムエンジニアとして勤務実績のある教員が指導する。                           |
| 1  | C1-K05 | 情報リテラシー | 60  | パソコンの機器構成やWindowsの基本操作及びファイルの操作、Word、Excel、Accessなどを使ってビジネスアプリケーションを学習する。情報処理関連企業でプログラマ・システムエンジニアとして勤務実績のある教員が指導する。                                   |
| 1  | C1-K06 | 特別講座Ⅰ   | 30  | 業務データを適切な方法で分析し、当該ビジネスの現状や課題を把握した上で、表やグラフを用いた的確な報告書を作成する。また、ケーススタディを通し、ビジネス遂行に必要な「報告・連絡・相談」と「情報共有スキル」を習得する。情報処理関連企業でプログラマ・システムエンジニアとして勤務実績のある教員が指導する。 |
| 2  | C2-K07 | 特別講座Ⅱ   | 90  | 各種検定試験で行う対策講座であり、問題演習及び傾向対策を重点的に行う。情報処理関連企業でプログラマ・システムエンジニアとして勤務実績のある教員が指導する。                                                                         |
| 2  | C2-K08 | 卒業研究    | 270 | 2年間の成果を残すための制作演習を行う。プログラミングまたはネットワークについての学習を目に見えるものとして作品を残す。情報処理関連企業でプログラマ・システムエンジニアとして勤務実績のある教員が指導する。                                                |
| 合計 |        | 5科目     | 570 |                                                                                                                                                       |



# 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表

分野： 工業 学科名： セキュリティネットワーク科

| 学年 | 科目コード  | 科目名           | 時間数 | 内容                                                                                                                              |
|----|--------|---------------|-----|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1  | S1-K05 | クラウド基礎        | 30  | 近年、メールやオフィス機能、オンラインストレージなどのクラウドサービスが普及している。IT業界でプログラマ経験のある教員が、クラウドの基礎知識、仮想環境構築や操作に必要なコマンド操作、Git操作を指導し、クラウドサービスを扱うための基礎技術を身に付ける。 |
| 1  | S1-K09 | セキュリティプログラミング | 120 | サイバー攻撃の多くは、WebサイトやWebアプリケーションの脆弱性を狙っている。IT業界でプログラマ経験のある教員が、セキュアなWebサイトやWebアプリケーションを制作する上で必要となる基本的なプログラミング技術を指導する。               |
| 1  | S1-K15 | LAN構築演習Ⅰ      | 90  | 企業でネットワーク構築経験のある教員が、イーサネットや無線LAN、TCP/IPなどの基本的なネットワーク知識とL2スイッチやルーターなどネットワーク機器の基本的な動作と設定方法を指導する。                                  |
| 1  | S1-K17 | サーバ構築演習Ⅰ      | 60  | IT業界でプログラマ経験のある教員が、Webサーバーなどに使用されるLinuxOSの基本知識を教授する。基本操作、ユーザー権限、ネットワーク設定、セキュリティ設定からDNS、Webサーバー、メールサーバーなどの各種サーバーの構築を行う。          |
| 1  | S1-K21 | 総合演習          | 30  | 企業でシステム開発の経験のある教員が、クラウド基礎やサーバ構築演習Ⅰなどで学習した知識を活用し、サーバやセキュリティについての技術をさらに深める。                                                       |
| 2  | S2-K07 | セキュリティマネジメントⅡ | 100 | 社会人・企業人として求められる課題解決能力を身につける。企業コンサルティング経験のある講師が、事例などをもとに、企業活動、経営戦略、関連法規に関する基礎的な知識を指導することで、戦略的なマネジメント能力を育てる。                      |
| 2  | S2-K12 | 情報分析演習        | 150 | サイバー攻撃の早期発見には、高度な監視技術が不可欠である。企業でシステム管理経験のある教員が、システム監視に必要な情報収集と分析、可視化技術を指導する。システム設計、開発及びツールを使った演習を行い、分析技術の理解を深める。                |
| 2  | S2-K16 | LAN構築演習Ⅱ      | 120 | 企業でネットワーク構築経験のある教員が、イーサネットや無線LAN、TCP/IPなどの基本的なネットワーク知識とL2スイッチやルーターなどネットワーク機器の基本的な動作と設定方法を指導する。実機を使った演習を行い、ネットワークの動作原理の理解を深める。   |
| 2  | S2-K18 | サーバ構築演習Ⅱ      | 150 | 企業でクラウドシステム管理の経験のある教員が、クラウドサービスの基礎知識を基に、仮想環境上に各種サーバ機能（ネットワーク、データベース、Webシステムなど）を構築する演習を行うことで、クラウドの導入から運用までの技術を指導する。              |
| 合計 |        | 9科目           | 850 |                                                                                                                                 |

# 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表

分野： 工業 学科名： ゲームクリエイト科

| 学年 | 科目コード  | 科目名          | 時間数 | 内容                                                                                                                                                       |
|----|--------|--------------|-----|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1  | G1-K04 | デジタル画像編集基礎   | 60  | ゲーム制作分野におけるキャラクタ、背景、エフェクトなど2D（平面）画像制作に必要な画像編集に関連する技術の習得を目的に、デジタルコンテンツ制作の実務経験のある教員が、画像編集ソフトを利用してデジタル画像の制作演習を行う。                                           |
| 1  | G1-K05 | アルゴリズムとデータ構造 | 30  | 論理的思考能力を身につけ表現する授業である。システムエンジニアとして実務経験のある教員が、Scratchの活用やフローチャートの読み書き、アルゴリズムの読解を通じ、自らの考えを正確に順序立てて説明できるような学習を行う。情報処理関連企業でプログラマ・システムエンジニアとして勤務実績のある教員が指導する。 |
| 1  | G1-K06 | プログラミング基礎    | 120 | C言語の学習を通じて、プログラミング言語ならではのルールや記述方法、処理の流れを、プログラマとして実務経験のある教員によって、「読む・書く・考える・伝える」ことができるプログラミングの基礎を学習する。情報処理関連企業でプログラマ・システムエンジニアとして勤務実績のある教員が指導する。           |
| 1  | G1-K10 | 情報技術基礎Ⅰ      | 150 | 基本情報技術者試験午前免除試験を受験するための対策科目である。IT関連に実務経験のある教員の講義によって、ハードウェアやソフトウェア、情報数学や経営など、エンジニアを目指すために最初に身につけてほしい知識や技術を学ぶ。                                            |
| 1  | G1-K11 | 情報技術基礎Ⅱ      | 150 | 基本情報技術者試験 午前免除試験を受験するための対策科目である。IT関連に実務経験のある教員の講義によって、DB、システム開発、NW、セキュリティ、PMなど、エンジニアとして知っているべき知識や技術を学ぶ。                                                  |
| 1  | G1-K16 | ゲームプログラミング入門 | 120 | プログラミング基礎の授業を基に、Windowsで動作するゲームを開発するための初歩を学習する。APIの活用やゲームライブラリの仕組みを理解するための処理順や技術の習得を目的に、プログラマとして実務経験のある教員が講義を行う。                                         |
| 1  | G1-K22 | WEB制作基礎      | 60  | Webサイト制作に関する基礎知識と基礎技術の習得を目的に、Webサイト制作の実務経験のある教員の講義を以ってHTMLとCSSに関する知識を学習し、Webサイト制作を通して技術の習得を行う。                                                           |
| 2  | G2-K07 | プログラミング応用    | 60  | オブジェクト指向プログラミングの学習を通じて、その利点やC言語との違いを理解し、プログラミングの考え方を応用する。プログラミングの再利用性や効率性を高めるための考え方も学習する。情報処理関連企業でプログラマ・システムエンジニアとして勤務実績のある教員が指導する。                      |
| 2  | G2-K09 | 資格取得講座Ⅱ      | 30  | ゲーム制作技術に関連する知識、主にC言語を体系的に習得することを目標に、C言語プログラミング能力検定の学習範囲をベースに、C言語に関する講義を行う。情報処理関連企業でプログラマ・システムエンジニアとして勤務実績のある教員が指導す                                       |

|    |        |              |       |                                                                                                                                                         |
|----|--------|--------------|-------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 2  | G2-K12 | 情報技術応用       | 120   | 基本情報技術者試験 試験対策授業科目である。午後試験を中心に問題を解き、解説を聞きながら自己理解を深める。問題の解き方の要点を抑えながら試験合格を目指す学習を行う。情報処理関連企業でプログラマ・システムエンジニアとして勤務実績のある教員が指導する。                            |
| 2  | G2-K17 | ゲームプログラミング基礎 | 240   | ゲームで利用する数学・物理やバージョン管理など、ゲームプログラミング周辺の技術も学習する。ゲームならではのプログラミング方法を理解して作品制作で活用できる基礎力を身につける。情報処理関連企業でプログラマ・システムエンジニアとして勤務実績のある教員が指導する。                       |
| 2  | G2-K19 | ゲームプランニング    | 30    | 自らのアイデアを視覚化して伝えられる表現力を身につけ、企画に落とし込められることを目標とする科目である。ゲーム企画手法やタイトルロゴ、挿絵などの表現方法などを学習する。情報処理関連企業でプログラマ・システムエンジニアとして勤務実績のある教員が指導する。                          |
| 2  | G2-K20 | ゲームエンジン基礎    | 60    | コンテンツとプログラムを総合的に利用し、ゲーム開発を行うゲームエンジンについての基礎知識、技術の習得を目的に、簡単なゲーム制作演習を通して、ゲームエンジンの利用、スクリプトの作成、アセットの利用方法などを学習する。情報処理関連企業でプログラマ・システムエンジニアとして勤務実績のある教員が指導する。   |
| 3  | G3-K18 | ゲームプログラミング応用 | 120   | ゲーム開発現場で活用されるプログラミング言語や開発ツールの理解を通じ、様々なゲームライブラリやゲームエンジンに対応できる応用力を身につける。情報処理関連企業でプログラマ・システムエンジニアとして勤務実績のある教員が指導する。                                        |
| 3  | G3-K21 | ゲームエンジン応用    | 60    | ゲームエンジン基礎の学習を基礎に、ゲームエンジンを活用して個人およびチームでゲーム開発できることを目的に、ゲーム制作の演習を通して、クラスを利用したスクリプトの開発、チームで利用できるアセットの作成方法などを学習する。情報処理関連企業でプログラマ・システムエンジニアとして勤務実績のある教員が指導する。 |
| 合計 |        | 15科目         | 1,410 |                                                                                                                                                         |

# 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表

分野： 教育・社会福祉      学科名： 未来こども科（単位制）

| 学年 | 科目コード  | 科目名      | 単位数 | 内容                                                                                                                                      |
|----|--------|----------|-----|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1  | K1-K04 | 情報処理入門Ⅰ  | 1   | IT企業でシステム開発やOffice製品を用いて業務に携わった勤務実績のある教員が指導する。コンピュータの基本用語を理解した上で、情報の意味とコンピュータの発達過程、ハードウェア／ソフトウェアについて学ぶ。                                 |
| 1  | K1-K07 | 幼児と言葉    | 1   | 幼稚園教諭及び保育所保育士の経験がある教員が指導する。領域「言葉」の指導の基盤となる、幼児が豊かな言葉や表現を身に付け、想像する楽しさを広げるために専門的事項に関する知識を身に付ける。                                            |
| 1  | K1-K08 | 幼児と人間関係  | 1   | 現在、幼稚園園長として幼児教育に携わる教員が指導する。領域「人間関係」に関する知識の習得、子ども個人の成長と、仲間集団の成長との双方に配慮しながら具体的な指導を行う実践力の基礎を培う。                                            |
| 1  | K1-K09 | 幼児と環境    | 1   | 認定こども園保育教諭の経験がある教員が指導する。領域「環境」のねらいと内容を理解する。また、「環境とかかわる力」の発達について理解する。自然環境や社会環境などの具体的体験を重視した保育を設定し、実践的に指導する力を養う。                          |
| 1  | K1-K11 | 社会福祉     | 2   | 社会福祉士として社会福祉事業に携わる教員が指導する。少子高齢化、経済社会状況の変化等、現代社会における社会福祉の全体像を理解し、「自立支援」に焦点をおいた社会福祉施策の展開、具体的・個別的な実践を学ぶ。また、児童福祉分野における自立支援、子育て支援の方法について考える。 |
| 1  | K1-K12 | 教育原理     | 2   | 公立幼稚園の園長経験がある教員が指導する。教育の本質・意義・目的・機能、子ども家庭福祉等との関わりを理解し、教育に関する基本的な概念と知識の習得を図ることを目標とする。                                                    |
| 1  | K1-K22 | 社会的養護Ⅰ   | 2   | 児童養護施設施設長として施設養護に携わる教員が指導する。現代社会における社会的養護の意義と歴史的変遷、子どもの人権を踏まえた社会的養護の基本を理解する。また、社会的養護の制度や実施体系、対象や形態、関係する専門職種、現状と課題について学ぶ。                |
| 1  | K1-K25 | 保育の計画と評価 | 2   | 幼稚園教諭として幼児教育に携わる教員が指導する。保育の計画と評価の基本を学び、全体的な計画と指導計画の作成について、その意義と方法を理解する。また、子どもの理解に基づく保育の過程（計画・実践・記録・省察・評価・改善）について、その全体構造を捉え、理解をする。       |
| 1  | K1-K26 | 保育内容総論   | 1   | 保育所園長として保育所保育に携わる教員が指導する。保育所保育の子どもの育ちをめぐる現状と課題、保育所保育の役割、環境を通して行う保育、保育における遊びの位置づけなどの基本原理を理解する。また、指導計画を立案する。                              |
| 1  | K1-K27 | 教育方法論    | 2   | 保育所園長として保育所保育に携わる教員が指導する。教育の方法に関する理論的知識を学び、幼児期の教育の方法に関する基本原理を理解する。また、これらを踏まえた保育現場における実践を構想できる。                                          |

|   |        |              |   |                                                                                                                                                                            |
|---|--------|--------------|---|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1 | K1-K28 | 保育者論         | 2 | 公立幼稚園の園長経験がある教員が指導する。保育職の意義や役割、職務内容、倫理などの基本を学び、保育者に何が求められているのか、保育者として社会の期待に応えるためにはどのような努力をする必要があるのかを考えることから、保育という仕事を遂行していくための能力を形成することを目標とする。また、保育者の資質向上とキャリア形成について理解を深める。 |
| 1 | K1-K30 | 児童文化         | 1 | 幼稚園教諭及び保育所保育士の経験がある教員が指導する。児童文化の重要性を十分に認識した上で、実習を行い、児童文化の分野の実践的な指導ができるようになることを目標とする。                                                                                       |
| 1 | K1-K33 | 保育実習指導Ⅰ（保育所） | 1 | 保育所園長経験がある教員が指導する。保育実習の全体的な枠組みを理解し、実習に臨む心構えを作る。特に指導計画書の作成や実習日誌の書き方等にかかわる知識と技能を身につける。                                                                                       |
| 1 | K1-K35 | 保育実習Ⅰ（保育）    | 2 | 保育所保育士の経験がある教員が指導する。これまで学習してきた理論や技術が、保育の実践と具体的にどのように繋がるのか理解する。また、保育の技術や、能力を向上させ、保育観や子ども観を深める。                                                                              |
| 1 | K1-K39 | 実習事前・事後指導Ⅰ   | 2 | 幼稚園教諭及び保育所保育士の経験がある教員が指導する。実習の意義・目的を理解し、実習中の自らの課題を明確にする。実習の事後指導を通じて、実習の総括と自己評価を行い、新たな課題や学習目標を明確にする。                                                                        |
| 1 | K1-K43 | 実践講座Ⅰ        | 1 | 幼稚園教諭、保育士の経験がある教員が指導する。季節の歌や語り継がれる童謡、手遊び、リズム表現等の保育技術を学ぶ。また、保育現場で必要な造形表現技術、児童文化財の製作から実践について学ぶ。                                                                              |
| 1 | K1-K46 | 保育総合演習Ⅰ      | 1 | 保育における様々な表現方法を学び、保育現場における表現活動について研究する。また、表現における技術や知識を身につけ、感性を豊かにする。                                                                                                        |
| 1 | K1-S03 | 情報処理入門ⅠS     | 1 | IT企業でシステム開発やOffice製品を用いて業務に携わった勤務実績のある教員が指導する。コンピュータの基本用語を理解した上で、利用頻度の高い事務系ソフトの基礎的な利活用方法を、演習を通して習得する。                                                                      |
| 1 | K1-S08 | 健康（指導法）S     | 1 | 幼稚園教諭、保育所園長の経験がある教員が指導する。保育所保育指針及び幼保連携型認定こども園教育・保育要領、幼稚園教育要領に示される「ねらい」「内容」などの「健康」領域の構造を理解する。「健康」に関する保育内容及び方法を実践的に学び、基礎的な知識・技能を獲得する。                                        |
| 1 | K1-S09 | 人間関係（指導法）S   | 1 | 現在、幼稚園園長として幼児教育に携わる教員が指導する。領域「人間関係」に関する教育・保育内容及び指導に関する知識・技術を習得する。また、子どもの発達を領域「人間関係」の観点で捉え、子どもの理解を深める。                                                                      |
| 1 | K1-S11 | 環境（指導法）S     | 1 | 保育所保育士の経験がある教員が指導する。子どもたちに影響を与える環境の現状・問題について理解し、子どもたちが生きる力を培うための保育の工夫、自然体験・社会体験など具体的生活体験を重視した保育を自ら設定できるようにする。                                                              |
| 1 | K1-S12 | 言葉（指導法）S     | 1 | 幼稚園教諭及び保育所保育士の経験がある教員が指導する。人間にとっての言葉（言語）の役割・言語獲得の理論、子どもの言葉を育む適切な環境を理解する。保育内容「言葉」を理解し、保育者としての子どもとの関わり方を身につける。                                                               |

|   |        |                 |   |                                                                                                                                                  |
|---|--------|-----------------|---|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1 | K1-S18 | 劇あそび<br>(指導法) S | 1 | 幼稚園教諭、保育所園長の経験がある教員が指導する。領域「表現」のねらいと内容について理解する。子どもの発達に即した遊びの過程を理解し、どのような援助が必要かを考える力、子どもの表現を育てる実践力や指導法を身につける。                                     |
| 1 | K1-S20 | 児童文化S           | 1 | 児幼稚園教諭及び保育所保育士の経験がある教員が指導する。童文化の重要性を十分に認識し、内容を把握し、実習を行い、児童文化の分野の実践的な指導ができるようになることを目標とする。製作実習、児童文化財を使用した演習（部分実習）を行う。                              |
| 1 | K1-S22 | 教育実習<br>事前事後指導S | 1 | 教育実幼稚園教諭及び保育所保育士の経験がある教員が指導する。習に向けた「事前」の心がまえや準備に関する基礎的知識を理解する。観察記録の作成、指導計画の立案方法を理解する。                                                            |
| 1 | K1-S23 | 教育実習①S          | 1 | 幼稚園教諭としての経験がある教員が指導する。幼稚園における教育内容や幼稚園機能、幼稚園教諭の職務及び役割について、体験を通して理解する。また、観察記録の作成や部分実習の指導計画を立案することができる。                                             |
| 2 | K2-K10 | 子ども家庭福祉         | 2 | 現在、認定こども園園長として保育に携わる教員が指導する。保育者として子どもの最善の利益を図るための基礎的な知識を習得し、子ども家庭福祉の課題について総括的に考察できる力を養う。                                                         |
| 2 | K2-K13 | 保育原理            | 2 | 元保育園園長の経験がある教員が指導する。保育の意義、保育所保育指針における保育の基本、乳幼児の特性や保育の思想・制度の発達などを理解し、保育に関する基本的な知識を学習する。                                                           |
| 2 | K2-K16 | 保育の心理学          | 2 | 臨床心理士として教育機関などでカウンセリングに携わる教員が指導する。保育実践に関わる発達理論等の心理学的知識を踏まえ、発達を捉える視点について理解する。子どもの発達に関わる心理学の基礎を習得し、養護及び教育の一体性に即した援助、保育における人との相互的関わりや体験、環境の意義を理解する。 |
| 2 | K2-K17 | 子ども家庭支援の心理学     | 2 | 公認心理師・臨床発達心理士として児童養護施設や障害児入所施設で心理的ケアに携わる教員が指導する。生涯発達に関する心理学の基礎的な知識を習得し、初期経験の重要性、発達課題等について理解する。また、子どもとその家庭を包括的に捉える視点を習得する。                        |
| 2 | K2-K18 | 子ども家庭<br>支援論    | 2 | 保育所保育士及び認定こども園保育教諭、社会福祉協議会相談員の経験がある教員が指導する。子育て家庭に対する支援の意義・目的、保育の専門性を活かした子ども家庭支援の意義と基本を理解する。また、家庭支援の現状や課題についても学ぶ。                                 |
| 2 | K2-K19 | 幼児への<br>特別な支援   | 1 | 福祉型障害児入所施設の施設長として障害児保育携わる教員が指導する。インクルーシブ教育を含む特別支援教育に関する理念や制度の仕組みを学習し、特別の支援を必要とする幼児（知的障害・発達障害・肢体不自由・視覚障害・聴覚障害等）の心身の発達、心理的特性、学習の過程を理解する。           |
| 2 | K2-K20 | 子どもの保健          | 2 | 保健師として保健医療に携わる教員が指導する。子どもの心身の健康増進を図る保健活動の意義、身体的な発育・発達と保健、子どもの心身の健康状態とその把握方法等を理解する。また、子どもの疾病とその予防法及び他職種間の連携の下での適切な対応を学ぶ。                          |

|   |        |               |   |                                                                                                                                                                                                  |
|---|--------|---------------|---|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 2 | K2-K21 | 子どもの食と栄養      | 1 | 管理栄養士として病院への勤務経験がある教員が指導する。小児の発育・発達の特徴、栄養に関する知識をふまえ、小児期における心身の発達段階に応じた栄養法、集団給食、食教育の重要性を理解することを目標とする。                                                                                             |
| 2 | K2-K23 | 乳児保育Ⅰ         | 2 | 助産師として乳幼児保健・医療に携わる教員が指導する。乳児保育の意義と目的、歴史的変遷及び役割、保育所、乳児院等多様な保育の場における乳児保育の現状と課題について理解する。3歳児未満児の発育・発達を踏まえた保育の内容と運営体制、職員間や保護者、関係機関等の連携について学ぶ。                                                         |
| 2 | K2-K24 | 乳児保育Ⅱ<br>(演習) | 1 | 助産師として乳幼児保健・医療に携わる教員が指導する。3歳未満児の発育・発達の過程や特性を踏まえた援助や関わりの基本的な考え方について学び、養護及び教育の一体性を踏まえた子どもの生活や遊び、保育の方法や環境、配慮について理解する。                                                                               |
| 2 | K2-K29 | 教育相談          | 2 | 公立小学校のスクールカウンセラー業務に携わる教員が指導する。幼児理解の意義・方法について理解し、幼児理解(個と集団)と発達・学びとの関連性を理解する。幼児期における教育相談の意義を理解し、教育相談に関わる心理学の基礎的な理論・概念を理解する。また、カウンセリングマインドの必要性を理解し、カウンセリングの基礎的な態度・技法を学び、これらを生かした保護者への子育て支援に関して理解する。 |
| 2 | K2-K31 | 保育実践演習        | 1 | 幼稚園教諭及び保育所保育士の経験がある教員が指導する。自らの学びを振り返り、保育者として必要な知識・技能の習得を確認し、保育者として必要なコミュニケーション能力を習得し、使命感と職務内容について理解する。                                                                                           |
| 2 | K2-K32 | 子どもの健康と安全(演習) | 1 | 保健師として保健医療に携わる教員が指導する。保健的観点を踏まえた保育環境及び援助、保育における健康及び安全管理、子どもの体調不良等に対する適切な対応、感染症対策、子どもの発達や状態等に即した適切な対応等を学ぶ。                                                                                        |
| 2 | K2-K36 | 保育実習Ⅰ<br>(施設) | 2 | 施設保育士としての経験がある教員が指導する。施設現場で養護と療育を経験することにより、これまで学習してきた理論や技術が、保育の実践と具体的にどのように繋がるのか理解する。また、保育の技術や、能力を向上させ、保育観や子ども観を深める。                                                                             |
| 2 | K2-K37 | 保育実習指導Ⅱ(演習)   | 1 | 保育所保育士の経験がある教員が指導する。「保育実習事前事後指導」「保育実習(保育所)」、その他の教科で学習した内容を基盤に、保育所の理解、子どもや家庭について理解を深める。指導計画の作成や記録など実践力を養う。                                                                                        |
| 2 | K2-K38 | 保育実習Ⅱ         | 2 | 保育所保育士の経験がある教員が指導する。保育実習Ⅰ(保育)を通して学んだ技術と理論を基礎として、保育士として必要な資質・能力・技術を向上させる。また、子育て支援についても学ぶ。                                                                                                         |
| 2 | K2-K40 | 実習事前・事後指導Ⅱ    | 2 | 幼稚園教諭及び保育所保育士の経験がある教員が指導する。実習事前・事後指導Ⅰに引き続き、実習中の自らの課題を明確にする。実習の事後指導を通じて、実習の総括と自己評価を行い、新たな課題や学習目標を明確にする。                                                                                           |
| 2 | K2-K44 | 実践講座Ⅱ         | 2 | 保育所保育士の経験がある教員が指導する。実践講座Ⅰに引き続き、季節の歌や語り継がれる童謡、手遊び、リズム表現等の保育技術を学ぶ。また、保育現場で必要な造形表現技術、児童文化財の製作から実践について学ぶ。                                                                                            |

|    |        |           |    |                                                                                                                                     |
|----|--------|-----------|----|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 2  | K2-K45 | こどもと絵本    | 4  | 保育所園長、図書館司書等の経験がある教員が指導する。絵本を通じて集中力・理解力・人間関係など様々な力が育まれるよう、子どもと絵本の関わり方を学習する。また、絵本に関する知識、技能、感性を学び、絵本の選択力、指導力、表現力、コミュニケーション力を身につける。    |
| 2  | K2-K48 | 卒業研究      | 1  | 幼稚園教諭及び保育所保育士の経験がある教員が指導する。これまでの学習を通して、さらに学びたいと考えている事柄について自ら研究を深め、専門分野の知識を高める。研究物のまとめ方などの手法を学び、自分の考えを分かりやすく表現することを経験する。             |
| 2  | K2-S14 | 障害児保育S    | 1  | 福祉型障害児入所施設の施設長として障害児保育に携わる教員が指導する。障害児保育の対象となる障がいの特徴について理解し、障害児保育の実際や保護者支援に関する基礎的な知識を習得する。                                           |
| 2  | K2-S15 | 子どもの食と栄養S | 1  | 管理栄養士として病院への勤務経験がある教員が指導する。子どもの食と栄養で学んだことを基礎とし、保育者として小児に適切な食事を提供できるよう、各時期の特性や栄養について理解し、調理技能の習得を目指す。                                 |
| 2  | K2-S16 | 社会的養護ⅡS   | 1  | 児童養護施設施設長として施設養護に携わる教員が指導する子どもの理解を踏まえた社会的養護の基礎的な内容、施設養護及び家庭養護の実際について理解する。また、社会的養護における計画・記録・自己評価の実際、子どもの虐待防止と家庭支援について理解する。           |
| 2  | K2-S19 | 子育て支援S    | 1  | 現在、保育所園長として保育所保育に携わる教員が指導する。子育て支援・相談援助活動の基礎を習得し、援助展開における援助関係の形成、援助過程や各技術を効果的に活用するための理論と方法を学ぶ。また保育士の行う子育て支援について実践事例を通して具体的に理解する。     |
| 2  | K2-S21 | 保育実践演習S   | 1  | 幼稚園教諭及び保育所保育士の経験がある教員が指導する。自らの学びを振り返り、保育者として必要な知識・技能の習得を確認し、保育者として必要なコミュニケーション能力を習得し、使命感と職務内容について理解する。発表・議論・ロールプレイ、模擬保育などを組み合わせて行う。 |
| 2  | K2-S24 | 教育実習②S    | 3  | 幼稚園教諭としての経験がある教員が指導する。教育実習①Sでの経験を踏まえ、幼稚園における教育内容や幼稚園機能、幼稚園教諭の職務及び役割について、体験を通して理解する。また、観察記録の作成や全日実習の指導計画を立案し、実践する。                   |
| 合計 |        | 52科目      | 77 |                                                                                                                                     |



# 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表

分野： 商業実務      学科名： 医療事務科

| 学年 | 科目コード  | 科目名          | 時間数 | 内容                                                                                                                     |
|----|--------|--------------|-----|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1  | I1-K07 | 医療事務Ⅰ        | 120 | クリニックで医療事務として勤務実績のある教員が授業担当者である。保険請求のための診療報酬の算定を迅速かつ正確に行う技能を修得する。あわせて、医療保険制度のしくみと役割についても学習する。                          |
| 1  | I1-K09 | 医療秘書         | 60  | クリニックで医療事務として勤務実績のある教員が授業担当者である。病院組織や医療現場に特有な医療・医学や医療事務の基礎的知識を学習し、医者や看護師が行う医療行為を事務的に補助するための知識を修得する。                    |
| 1  | I1-K10 | 基礎医学論        | 60  | 現在も病院で保健師として勤務実績のある教員が授業担当者である。医療チームの一員としての医療秘書にとって基本的な医学知識、そのなかでも解剖生理学、からだの仕組みがどうなっているのかを理解する。                        |
| 1  | I1-K14 | 救命救急講座       | 30  | 日本赤十字社指導員による日常生活における事故防止、手当の基本、人工呼吸や心臓マッサージの方法、AEDを用いた除細動、止血の仕方、包帯の使い方、骨折などの場合の固定、搬送、災害時の心得などについての知識と技術を学ぶ。            |
| 1  | I1-K18 | 病院実習         | 60  | 近隣医療機関の医療スタッフの協力を得て、これからの医療人を育成することを目的に実施する。病院の実際業務を幅広く体験し、医療人としての心構えを養う。                                              |
| 1  | I1-K23 | 医療業界研究       | 30  | クリニックで医療事務スタッフとして勤務実績のある教員が授業担当者である。高齢化社会や医療技術の向上により、医療分野は大きく変化している。そのような状況を理解しながら、病院における医療行為や事務的業務の基本や常識について学ぶ。       |
| 1  | I1-K24 | コミュニケーション技法Ⅰ | 30  | 市教育委員会でスクールカウンセラーとして勤務実績のある教員が授業担当者である。コンセンサスワークを通して、疑問を持ち自律的な考え方ができる力、周囲の人々と協働できる力を体験していく。また自己理解を深め、他者との関わりについて考えていく。 |
| 1  | I1-K26 | ビジネスマナーⅠ     | 30  | 五つ星ホテルでフロントスタッフとして勤務実績のある教員が授業担当者である。社会人として必要なマナーを理解し、社内や社外の人と円滑に仕事をすすめるための礼儀作法を身につける。                                 |
| 1  | I1-K27 | ビジネスマナーⅡ     | 60  | 五つ星ホテルでフロントスタッフとして勤務実績のある教員が授業担当者である。ビジネスマナーに加え、あらゆる職種に共通する接客接遇の技術を習得し、顧客対応の技術向上を図る。                                   |
| 1  | I1-K32 | メイク・ファッション   | 30  | 五つ星ホテルでフロントスタッフとして勤務実績のある教員が授業担当者である。ビジネスマナーの一部として、それぞれの場面に応じたメイクやファッションについて理解を深め、自ら表現できるようにする。                        |
| 2  | I2-K08 | 医療事務Ⅱ        | 180 | クリニックで医療事務として勤務実績のある教員が授業担当者である。より実務レベルを想定した診療報酬計算を身に付ける。また現場職員のスキルアップの位置づけとされている、診療報酬請求事務能力認定試験の合格を目指す。               |

|    |        |              |     |                                                                                                                        |
|----|--------|--------------|-----|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 2  | I2-K13 | 栄養           | 30  | 管理栄養士として病院にて勤務実績のある教員が担当する科目である。社会人として持続的に活躍するために必要な自身の健康管理として、栄養バランスのとれた食生活を身に着けることで社会人になる為の生活基礎力を学習する。               |
| 2  | I2-K17 | ケアコミュニケーション  | 30  | クリニックで医療事務スタッフとして勤務実績のある教員が授業担当者である。医療現場で好感・安心感を高めるコミュニケーションの基本として、患者様の状況に応じた応対など各種場面での応対を学習する。                        |
| 2  | I2-K22 | 電子カルテ        | 30  | クリニックで医療事務スタッフとして勤務実績のある教員が授業担当者である。電子カルテシステムでは、診療記録は受付や会計・検査室・資料室などで即座に閲覧できる。これらのシステムの基礎知識を学ぶとともに基本的な操作方法を習得する。       |
| 2  | I2-K25 | コミュニケーション技法Ⅱ | 30  | 五つ星ホテルでフロントスタッフとして勤務実績のある教員が授業担当者である。ビジネス会話の基本である言葉づかいから、相手に好印象を与えるための聞く態度・話す態度、仕事の基本である報告・連絡・相談などの基礎的なコミュニケーション能力を養う。 |
| 2  | I2-K28 | パソコンリテラシー    | 60  | IT企業で文書作成からパソコン設定まで勤務実績のある教員が授業担当者である。基本的な文書作成から周辺機器トラブルの対応、クラウドツールなどの活用ができる知識を学習する。                                   |
| 2  | I2-K35 | カラーコーディネイト   | 30  | カラーコンサルティング関連企業でカラーアナリストとして勤務実績のある教員が授業担当者である。色彩学の基礎を学び、ビジネスの場面や自分に合った色を理解するとともに、待合室の雰囲気づくりなど活用する知識を身につける。             |
| 合計 |        | 17科目         | 900 |                                                                                                                        |

# 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表

分野： 工業 学科名： 国際IT・CAD科

| 学年 | 科目コード  | 科目名     | 時間数 | 内容                                                                                                  |
|----|--------|---------|-----|-----------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1  | R1-K02 | 就職Ⅰ     | 30  | 海外の民間企業で採用を行っていた教員が、就職活動の流れ、企業研究の方法、エントリーシート・履歴書の書き方、面接対策等、就職活動を行う上で必要となる知識・技能を学び、就職に備える。           |
| 1  | R1-K07 | ビジネスマナー | 30  | 民間企業で採用を担当していた教員が社会人として必要な立ち振る舞いを指導する。相手を不快にさせず、人間関係を円滑にするための言葉づかい、姿勢、表情も身に付けさせる。                   |
| 1  | R1-K21 | IT基礎技術Ⅰ | 60  | 民間企業でオフィスソフトウェアを活用した実務経験のある教員が、コンピュータの基本的な操作、ファイルとフォルダの管理、タイピング、MicrosoftOffice (Word、Excel) を学ぶ。   |
| 1  | R1-K32 | アルゴリズム  | 30  | 民間企業でプログラミング業務経験のある教員が、プログラムの構築に必要な考え方、これを図式化したフローチャートにより視覚化し、最良の手順で作成する技術を指導する。                    |
| 1  | R1-K33 | 機械制御基礎  | 30  | 民間企業でプログラミング業務経験のある教員が、STEM教育により各種センサを用いて、どのようなしくみで機械をプログラム制御するかを実習をとおして習得する。                       |
| 1  | R1-K37 | 基礎製図    | 60  | 民間企業で製図業務経験がある教員が、機械製図の基礎的な知識・方法、及び立体表現に必要な図学の基礎知識、製図の作成における知識をJIS規格に則り習得し、CAD技術者としての基礎を身につける。      |
| 1  | R1-K39 | CAD基礎   | 90  | CAD技術者として実務経験がある教員が、世界標準となっているCADソフトAutodesk社のAutoCAD（2次元）、Inventor（3次元）を使用して、CADによる図面作成を指導する。      |
| 1  | R1-K43 | 資格検定対策Ⅰ | 30  | 情報処理技術者および製図業務としての経験がある教員が、CAD利用技術者試験「基礎」ランクの合格を目指し、指導する。                                           |
| 2  | R2-K03 | 就職Ⅱ     | 20  | 海外の民間企業で採用を行っていた教員が内定～入社の間想定される企業とのコミュニケーションについて学ぶ。定例文の学習に加え、ケーススタディを行い、実際の場面で活用できる判断能力を身につける。      |
| 2  | R2-K22 | IT基礎技術Ⅱ | 30  | 民間企業でオフィスソフトウェアを活用した実務経験のある教員が、MicrosoftOffice (Word、Excel、Powerpoint) を使って、さまざまなドキュメントを作成するスキルを学ぶ。 |
| 2  | R2-K25 | 経営学概論   | 30  | 製造業で実務経験のある教員が担当する。工場のしくみを理解し、製品がどのように作られているか、原価計算、資材管理、生産管理、商品管理などの必要性や他部署との関わりを学ぶ。                |
| 2  | R2-K26 | マーケティング | 30  | 販売業でマーケティングの知識を生かし勤務していた教員が、製造業界の現状を学び、生産管理やプロジェクトマネジメント、コスト意識や業務改善提案力など、企業現場で求められている状況に対応できるよう学ぶ。  |
| 2  | R2-K27 | 財務管理    | 30  | 金融機関に勤務していた教員が給与明細を参考に、税金、社会保険、各種控除等の意味を理解し、個人と企業、個人と社会、社会と企業の財務的なつながりについて学ぶ。                       |

|    |        |          |     |                                                                        |
|----|--------|----------|-----|------------------------------------------------------------------------|
| 2  | R2-K40 | C A D 応用 | 90  | CAD技術者として実務経験がある教員がAutoCAD（2次元）、Inventor（3次元）を使用して、複雑な図面作成ができるように指導する。 |
| 2  | R2-K44 | 資格検定対策Ⅱ  | 90  | 情報処理技術者および製図業務としての経験がある教員が、CAD利用技術者試験「2級」ランクの合格を目指し、指導する。              |
| 合計 |        | 15科目     | 680 |                                                                        |

# 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表

分野： 商業実務 学科名： 国際観光・ビジネス科

| 学年 | 科目コード  | 科目名            | 時間数 | 内容                                                                                                                |
|----|--------|----------------|-----|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1  | T1-K07 | ビジネスマナー        | 30  | 民間企業で採用を担当していた教員が社会人として必要な立ち振る舞いを指導する。相手を不快にさせず、人間関係を円滑にするための言葉づかい、姿勢、表情も身に付けさせる。                                 |
| 1  | T1-K21 | I T 基礎技術 I     | 60  | 民間企業で実務経験のある教員が、コンピュータの基本的な操作、ファイルとフォルダの管理、タイピング、MicrosoftOffice (Word、Excel) を指導する。                              |
| 1  | T1-K30 | 営業マネジメント I     | 30  | 民間企業でマネジメント業務を行っていた教員が観光業界におけるさまざまな「商品」について、観光地の特色と関連付けながら指導する。                                                   |
| 1  | T1-K32 | サービス・接客 I      | 120 | 客室乗務員として業務を行っていた教員がサービススタッフとしてのあいさつ、姿勢、敬語の使い方など基本的な項目を指導し、サービス接客検定準1級ロールプレイング合格を目指す。また、お客様の立場にたった「おもてなし」についても学ぶ。  |
| 1  | T1-K35 | 接客英語 I         | 60  | ホテルでの実務経験のある教員が主にホテル業界で使用する英語について教える。専門的な単語から頻出表現まで、英語を聞き取り、答えられる能力を身につけさせる。                                      |
| 1  | T1-K38 | T O E I C 対策 I | 30  | 海外のホテルで英語を使って業務にあたっていた教員が基本的な英語能力の習得を目指し指導を行う。TOEIC400点を目指す。                                                      |
| 1  | T1-K43 | ホテル基礎知識        | 30  | ホテルでの実務経験のある教員がホテルの歴史、分類、業界の特徴、各部門の役割と業務等、ホテルについての基礎的な知識について指導する。                                                 |
| 1  | T1-K44 | ホテル実務 I        | 30  | ホテルでの実務経験のある教員がホテルの各セクションの業務内容について指導する。また、ホテル実務技能検定試験初級の合格を目指す。                                                   |
| 2  | T2-K22 | I T 基礎技術 II    | 30  | 民間企業で実務経験のある教員が、MicrosoftOffice (Word、Excel、Powerpoint) を使って、さまざまなドキュメントを作成するスキル                                  |
| 2  | T2-K26 | マーケティング        | 30  | 販売業でマーケティングの知識を生かし勤務していた教員が、生産管理やプロジェクトマネジメント、コスト意識など、企業活動をする上で必要となる関連知識を総合的に学習する。                                |
| 2  | T2-K27 | 財務管理           | 30  | 金融機関に勤務していた教員が給与明細を参考に、税金、社会保険、各種控除等の意味を理解し、個人と企業、個人と社会、社会と企業の財務的なつながりについて学ぶ。                                     |
| 2  | T2-K31 | 営業マネジメント II    | 30  | 民間企業でマネジメント業務を行っていた教員がニューノーマル時代の観光業について、どのようなサービス・商品が今後必要とされるのかを今後の動向を予測し、考察する。                                   |
| 2  | T2-K33 | サービス・接客 II     | 120 | 外資系ホテルにてサービスコンシェルジュとして勤務実績のある教員が指導する。サービススタッフとして、状況を的確に把握し、お客様が求める以上のサービスを提供できるスキルを学ぶ。また、サービス接客検定3級合格も学習成果として目指す。 |
| 2  | T2-K34 | サービス実習         | 30  | 販売店で実務経験のある教員が、学生に対して広く接客業にかかわる実践的なサービスを実践し習得しさせる。                                                                |

|    |        |            |     |                                                                                          |
|----|--------|------------|-----|------------------------------------------------------------------------------------------|
| 2  | T2-K42 | ツアープランニングⅡ | 60  | 旅行会社で実務経験のある教員が、ニューツーリズムの概念と全国の観光地の知識を習得させる。フィールドワークを行って理解を深めたうえで、2泊3日以上プランニングを行う。       |
| 2  | T2-K45 | ホテル実務Ⅱ     | 60  | ホテルでの実務経験のある教員が主にフロント業務、バンケット業務について指導する。基本的なオペレーションのほか、さまざまなホテルが取り組んでいる特徴的なサービスについて研究する。 |
| 合計 |        | 16科目       | 780 |                                                                                          |

# 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表

分野： 教育・社会福祉 学科名： 国際介護福祉科

| 学年 | 科目コード  | 科目名             | 時間数 | 内容                                                                                                                     |
|----|--------|-----------------|-----|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1  | F1-K06 | 人間関係とコミュニケーションⅠ | 30  | 介護施設で社会福祉士として相談業務に従事する教員が担当する。学生は、利用者や職員とのチームケアを実践できるよう、対人援助に必要な人間関係性を理解し、人間関係形成に必要な基礎的なコミュニケーションを理解し、学習する。            |
| 1  | F1-K11 | 介護の基本Ⅱ          | 60  | 介護施設で介護長として勤務する教員が、介護の基本理念、介護サービスについて教える。学生が介護を適切に行う能力と態度を身に付けるために、介護を必要とする人の尊厳の保持や自立支援など介護の意義と役割を理解する。                |
| 1  | F1-K13 | コミュニケーション技術Ⅰ    | 30  | 介護施設で介護リーダーとして勤務する教員が実際の介護現場の知見を活かしてコミュニケーションの実践を教える。学生は、利用者や職員とのチームケアを実践できるよう、コミュニケーションの意義や技法を学び、実践する。                |
| 1  | F1-K15 | 生活支援技術Ⅱ         | 90  | 介護施設で介護長、介護リーダーとして勤務する教員が、利用者の自立支援を中心に介護知識や支援技術を教える。学生は利用者が本人主体の生活が継続できるよう、根拠に基づいた介護実践を行うための知識・生活支援技術を習得する。            |
| 1  | F1-K17 | 介護過程Ⅰ           | 30  | 社会福祉法人で地域福祉サービスや研修を担当する教員が、利用者に応じた介護過程を教える。学生は、利用者が望む生活の実現に向けた介護実践のために、生活課題の分析、根拠に基づく課題解決のためのアセスメント、計画立案の過程を習得する。      |
| 1  | F1-K19 | 介護総合演習Ⅰ         | 60  | 介護施設で介護長として勤務する教員が介護実習や介護現場への対応力、心構えを教える。学生は、介護実習を行うために、介護実践に必要な知識と技術の統合や、学生自らの介護観を形成し、専門職としての態度を習得する。                 |
| 1  | F1-K23 | こころとからだのしくみⅠ    | 30  | 介護施設で看護師として勤務する教員が人間の心理・人体の基礎的な構造や機能を教える。学生が介護を必要とする人の生活支援を行うために、介護実践の根拠となる人間の心理・人体の構造や機能を理解するために学習をし知識を習得する。          |
| 1  | F1-K29 | 障害の理解Ⅰ          | 30  | 障害者施設で社会福祉士として勤務する教員が担当する。学生が障害のある人の心理や身体機能、社会的側面に関する基礎的な知識を学習し、障害のある人の地域での生活や、本人・家族や地域を含めた周囲の環境への支援をするために基礎的な知識を習得する。 |
| 2  | F2-K08 | 社会の理解           | 60  | 介護施設で社会福祉士として相談業務に従事する教員が担当する。学生は、日本の社会を理解するために、①生活と社会の関係性②地域共生社会・地域包括ケア③日本の社会保障制度④高齢者・障がい者の福祉および権利擁護の基礎的な知識を習得する。     |
| 2  | F2-K30 | 障害の理解Ⅱ          | 30  | 障害者施設で社会福祉士として勤務する教員が担当する。学生が障害のある人の心理や身体機能、社会的側面に関する基礎的な知識を学習し、障害のある人の地域での生活や、本人・家族や地域を含めた周囲の環境への支援をするために基本的な知識を習得する。 |

|    |        |       |     |                                                                                 |
|----|--------|-------|-----|---------------------------------------------------------------------------------|
| 2  | F2-K31 | 医療的ケア | 90  | 介護施設で看護師として勤務する教員が、医療的ケアの基礎的な実技と実践的な技術を教える。学生は医療的ケアを安全・適切に実施するために必要な知識・技術を習得する。 |
| 合計 |        | 11科目  | 540 |                                                                                 |